

仮想マシンの削除方法など(20250508 改訂版)

インポートした仮想マシンの保存場所

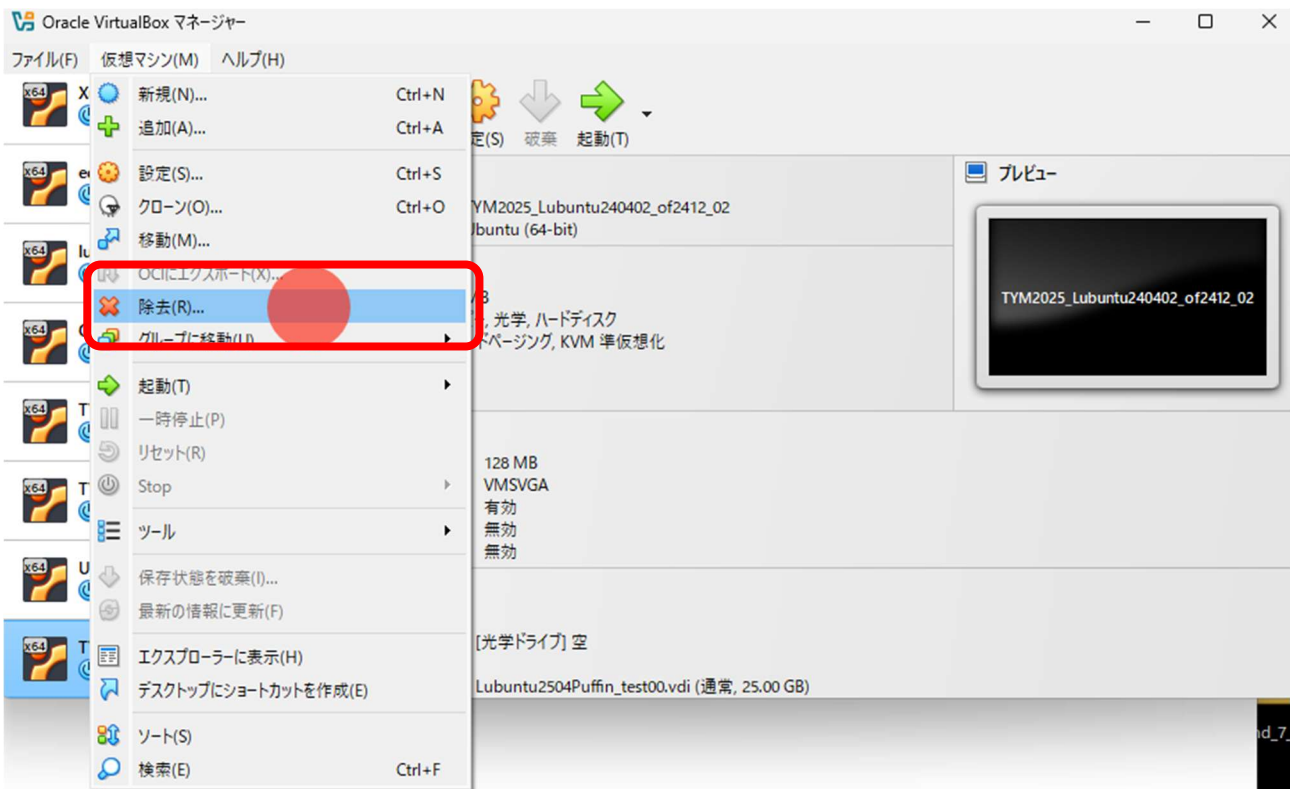
仮想マシンを VirtualBox にインポートすると、標準設定では、「C:\Users\ユーザー名\VirtualBox VMs」に仮想マシン名のディレクトリが作成されます。その中に設定や仮想ディスクファイルが保存されます。

不要な仮想マシンの削除方法

仮想マシンが不要となった場合の削除方法を確認します。まずは、仮想マシンを終了してください。

Oracle VirtualBox マネージャーで、

- 画面左の仮想マシンリストから、削除したい仮想マシンを選択し、
- 画面上部の「仮想マシン」メニューから、「除去」を選択する。



「VirtualBox - 質問」というウィンドウが表示される。完全に削除してよい場合には、「すべてのファイルを削除」を選択する。[「除去のみ」を選択すると、Oracle VirtualBox マネージャーには表示されないが、仮想マシン本体のファイル類が残るため、ディスク使用量が削減できません。]



仮想マシンの削除が完了した後は、念のために、「C:\Users\ユーザー名\VirtualBox VMs」から該当するディレクトリが削除されていることをご確認ください。

使わない仮想マシンの保管，バックアップ方法

不要ではあるが、念のために残しておきたい仮想マシンがあるときには、エクスポートしてしまうことができます。

保存したい仮想マシンを VirtualBox マネージャーで選択し、「ファイル」メニューから「仮想アプライアンスのエクスポート」を選択します。ウィザードに従って ova ファイルを作成できます。

必要になったときには、この ova ファイルをインポートすることで、仮想マシンが再現できます。

エクスポートして不要になった仮想マシンは、前期の方法で削除可能です。講習受講用ノート PC などではディスク容量に限りがある場合には、必要な仮想マシンだけを残すなどして空き容量を確保することができます。